

GWI 声明文：ロシアとウクライナ紛争について

2022年3月4日

GWI（大卒女性インターナショナル）は、第一次世界大戦終結直後の1919年に、世界の大学教育を受けた女性が結集し友情を育むことで、大戦で経験したような惨禍が二度と繰り返すことがないようにとの目的で、創立された世界規模の組織です。以来、世界のすべての国々の間の平和推進に努めてきました。

しかし、悲しいことに100余年後の丁度先週、突如として独立した主権国家が別の主権国家に侵攻されるということが再び勃興し、世界はまたしても武力紛争の脅威に驚愕しました。とりわけ女性と子どもおよび高齢者は、武力紛争の犠牲者となり、身の安全のためには住む家から逃げ出すほかに方法がありません。それにより、国境を越えた難民が再び急増します。GWIは、女性（と女兒）が武力紛争に世界中どこでも常に不均衡に影響を受けることから、再び暴力やレイプに直面することを、深く懸念しています。武力紛争、つまり戦争は、ジェンダーに対して決して中立ではないのです。

GWIは、国連事務総長アントニオ・グテーレスが国連総会で発したウクライナ・ロシア紛争についての次の言葉を、ここで繰り返し述べたいと思います。「プーチン大統領よ、ロシア軍のウクライナ攻撃を、止めなさい。“平和に機会を与えよ”（冷戦時代のビートルズの歌の題名)、既に多くの命が奪われているではないか。」

われわれはロシアに対して、ロシアとウクライナ両国が署名している国連の人権宣言を守るよう強く求めます。特に宣言の28条「誰も皆、この宣言で明言されている権利と自由を全うできる社会的国際的秩序を享受する資格がある」を守ることを求めます。いかなる国も団体も個人も、この宣言で謳われている権利と自由を奪うことになるいかなる行為を実行すること、ならびにそのような行動に従事する権利は、ありません。

従ってGWIは、両国それぞれに対して、両国間の平和について交渉し、この紛争を平和裏に収束させることを、強く求めます。また、両国のこれまでの交渉において男性のみの出席しか見られないことから、交渉のテーブルに女性の参画を求めます。そして、平和構築と紛争後の再建において女性と子どもの積極的な参加を促進してください。

2001年国連へ出された「介入と国家主権に関する国際委員会（ICISS）」による報告「国家の国民市民を保護する責任」に盛り込まれている以下のような原則の国際的受諾を推進することを、最優先してください。

- ・防止の責任： 紛争の直接的、根源的原因を処理する。
- ・対応の責任： 人間が根本的に必要とするものに窮していることに対して適切な手段で対応する。
- ・再建の責任： 再興、再建と和解・調停を支援する。
- ・国連の後援の下での人道的介入に対する国際的協定を提唱する。

敬具
GWI 理事